

市民とともに歩みたい…チェック機能を果たせる会派!!

鴻友会

発行責任者：羽鳥 健
鴻巣市屈巢 3446
☎048-569-0732

鴻巣市議会議員

おだ京子・谷口たつろう・羽鳥けん・矢部一夫・とんしよすみ江

●平成26年10月4日(土)に議会報告会を行いました。

人口減少は、少子高齢化と共に鴻巣市の根幹にかかわる重要な問題です。



原口市長

●中根衆議院議員
●中屋敷県議会議員
御3方からご挨拶をいただきました。

市民の働く場の確保、生活の向上をめざします。



谷口たつろう議員



羽鳥けん議員

農業支援に努力しています。



おだ京子議員

政策総務常任委員会の報告と、「手話言語法」制定を求める意見書の報告をさせていただきました。

「こども・子育て支援新制度に関する条例」の制定を報告しました。



とんしよすみ江議員



矢部一夫議員

12月議会の特色

●鴻巣市いじめ問題対策連絡協議会等条例

鴻友会が取り組んできた「いじめ対策」ですが、今回「鴻巣市いじめ問題対策連絡協議会等条例」が執行部より提案され議決されました。



今までいじめの問題は学校と教育委員会が対処していましたが、この条例ができた事により、教育委員会、行政、地域がひとつになりいじめの解決が出来る様になります。委員には、教育関係者や市の職員、弁護士や臨床心理士が入り、より具体的に的確にいじめに対応する事ができるようになりました。鴻友会では織田京子議員が賛成討論をしました。

●鴻巣市民のいのちと心を守る自殺対策条例

委員会提出議案第1号!!

文教福祉常任委員会にてこの条例を発議制定。

本条例の目的は、一人一人が「命」を大切に自自殺対策の担い手として、ともに支え合う鴻巣市を築き、「生き心地の良い社会」の実現に努めるため、この条例を制定します。



市の発展と雇用の拡大をめざして活動します

我が国のこれからは人口の減少と企業の海外進出による働く場の縮小が予想され、このままの状態では当市も衰退の一途をたどるものと予想されます。

この対応のため当市発展のため人口増加策を行わなければなりません。この対応のため当市は

谷口 たつろう

住んでみたい街・働く場のある街などなどが必要になるものと判断しています。

われわれ議員もこれらの施策を実現するために相応の活動をしています。

今回皆様に報告できるのは我が地区に新規企業の誘致と企業の増設により働く場が増加するとの報告であります。

その成果のいったんは次のとおりであります。

①平成19年に出来たコンタクトレンズメーカーの(株)シードの増設であり、この増設により従業員450名が来年4月より500名の50名の増加であります。

この増設には、我々が提案して制定された企業誘致促進条例が適用該当であり条例が効果を上げています。

②来年11月オープンを目指しアピタ前に10階建のビジネスホテルが工事着手しています。これが完成しますと定員200名超の規模で雇用も約70名見込まれ、当市を訪問される方々の利便性が一段と向上され、行事・スポーツなどの参加者に喜ばれるものと判断されます。



①農業日本型直接支払制度(多面的機能支払交付金)

本年6月に、多面的機能支払、中山間地域等直接支払、環境保全型農業直接支援を法制化するための「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」が成立し、平成27年4月より施行されることとなりました。これに伴い、今年度から始まった多面的機能支払は、平成27年度から法律に基づく安定的な制度となります。高齢化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じております。このため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に対して支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進し、これにより農業・農村の有する多面的機能が、今後とも適切に維持・発揮されるとともに担い手農家への農地集積を後押しすることが、活動のねらいでございます。

矢部 一夫

②東部都市下水路調整池の対策について

近年、市街地の都市化の進行による緑地や空き地の減少に伴い、雨水の地下浸透量等の減少による雨水流出量が増加している現状にあります。また、地球温暖化による雨量の増加により台風や集中豪雨の時には、調整池周辺道路の冠水や浸水が発生している状況であり、現時点で考えられる対策としましては、排水ポンプ場の適切な運転や農業用水の水位調整はもとより、雨水排水処理における流域内の雨水は、極力上流域で貯留、浸透させることが重要であると考えます。さらに武蔵水路の整備に伴い、流域の総合治水の観点から元荒川増水時には、川面水門にて取り組むことも可能な計画となっておりますことから、流域の排水改善につながると期待しております。



平成 25 年度一般会計決算認定 市民環境常任委員会付託分から

・一般コミュニティ事業助成金

県を經由しての宝くじ助成金で、御成町町内会の太鼓やはんてん、ちょうちん等の祭事用品の購入と北新宿町内会のこども神輿担ぎ棒等のお祭り用品を購入いたしました。

・防犯灯管理運営事業のLED化への交換

平成25年度は、市内の40ワットの蛍光灯防犯灯3906基をLED防犯灯へ交換しました。また要望等に基づき140基を新たに設置しました。今後は、残り7600基の蛍光灯防犯灯を今年度と来年度の2カ年で交換する予定です。

代表:羽鳥 けん

9月定例会の一般質問

- ・人口減少に対応した今後の市政運営について
- ・空き家対策について
- ・屈巢用水路沿いの道路について
- ・小中学校の教室の配置状況について



政策総務常任委員会の報告

政策総務常任委員会は、市の政策に関する事、経営に関する事、税金に関する事を主に審議する委員会です。その中で、主だった議案を報告します。

・法人税が、2.6パーセント引き下げられます。法人にとってはありがたいことですが、市の収入が、平成27年度から影響がでまして、28年度と合わせますと、1億3千万円の減収になります。その反対に、軽自動車の税率が引き上げられます。平成27年度からの適用で、原動機付自転車・50ccは、1,000円から2,000円に、四輪乗用車は、7,200円から10,800円に、貨物車は、4,000円から5,000円に増額になります。こちらの市の影響額は、平成27年度で1,200万円の増収になります。

・平成25年度の市の財政調整基金(個人で言う貯金)は、34億8,258万円あり、市に何かあった時の備えになります。

「手話言語法」制定を求める意見書を提出

聴覚障がい者協会より、依頼をうけまして、私が提出議員となり、私の所属する鴻友会・公明党・コスモスクラブが、賛成者となり、意見書を提出して、本議会で採択されました。現在、埼玉県では、飯能市と寄居町以外の議会で採択されています。

手話を、言語として認めることによって、どこでも誰とでも、聞こえない方達が意思の疎通をすることが出来ます。その為には、手話通訳者を沢山育てていかなければならないという問題もあります。小学校から手話を教えていけば、無理なくみんなが手話で話が出来るようになることでしょうか。障害者にやさしいまちづくりの一翼を鴻友会で担えたことをうれしく思います。



資源ごみ持ち去り防止に向けて



とんしょ すみ江

無断で持ち去る行為は犯罪!!

一般家庭から出る缶・ビン・ペットボトル・古紙等は回収され、資源としてリサイクルされ市の収入に。持ち去り防止対策として、「鴻巣市廃棄物処理及び清掃に関する条例」の一部を改正、「集団回収事業」の推進、防犯パトロールやごみ出しルールの遵守など、行政と地域住民が連携し、持ち去り行為の撲滅に努めることが、市民生活の安心・安全の確保につながると考えます。